

1 運営の基本方針

公益財団法人として、科学技術の振興と地域の特性を生かした科学教育の普及、生涯学習の振興に寄与するため、「体験型の科学館」として市民に親しまれ、「また来ました」と言っていただけの愛される施設の運営を推進していく。

2 事業内容

(1) 自然科学情報資料の収集及び調査研究に関する事業並びに科学技術に対する正しい理解と認識の定着を図るための事業

① 各種プログラムによる参加型体験学習

科学実験教室やフィールドワーク等の各種プログラムを実施し、利用者が体験を通して自然現象や科学技術を実感を伴って学ぶことができるプログラムを提供する。

名 称	内 容
サイエンスステージ	身の回りにある科学現象などの実演ショーを通して、科学に対する興味を喚起する参加型プログラム ◇ サイエンスショー ◇ 映像プログラム
科学実験教室	観察や実験を行うことにより、科学の不思議な現象を身近に感じ、科学の楽しさを味わうことのできるプログラム
工作教室	遊び感覚でものづくりを行う活動を通して、ものづくりの楽しさや科学技術の原理・現象の面白さを体験できるプログラム
フィールドワーク	里山やビオトープなどの屋外施設を活用して、自然の不思議さやすばらしさを感じることで自然観察等の体験型プログラム
フライトアカデミー	飛行機の基本的な操縦知識や技術を学んだり、体験したりすることができる本格的飛行・操縦体験

② 常設展示による体験学習

昆虫をテーマとした体験型展示の維持・管理を行う。新鮮さや魅力の向上を図るために生態展示を季節ごとに変えたり、自然科学に対する興味を高めるため、見て触れて体験できる先端科学技術の展示を配置したりしていく。また、展示室内の昆虫に関する学習ができるクイズを3段階の難易度別に用意し、希望により実施できるようにする。

- ◇ なぜだろうランド及びエントランスにおける生態展示（セイヨウミツバチ、カイコ、水生昆虫、擬態昆虫）
- ◇ カブトムシ・クワガタムシコーナー、身近な生き物コーナー、奇虫コーナーにおける世界のカブトムシ・クワガタムシ・身近な生き物・奇虫の生態展示

③ 企画展

名 称	内 容	期間・期日
世界のカブトムシ・クワガタムシ展	世界各国に生息する人気のあるカブトムシやクワガタムシの成虫(約50種類)の展示。	令和4年7月16日(土) ～令和4年8月21日(日)
ムシテック写真コンテスト	昆虫の写真を募集し、審査、発表することで、お客様の参加できる写真コンテストを開催する。	令和4年8月2日(火) ～令和4年9月30日(金)
自然に学ぶ 最先端技術 (仮)	生き物を手本にして社会の様々なところで活用されている「ネイチャーテクノロジー」を紹介する。	令和5年2月25日(土) ～令和5年4月5日(水)

④ 特別事業

名 称	内 容	期間・期日
スマイルキッズ inムシテックワールド (未定)	青年会議所との共催によるイベント	令和4年5月29日(日)
教員のための 博物館の日 (助成事業)	貸出教材への理解を広めるとともに科学の楽しさを体感できるイベント。幼稚園、小中学校等教員向けの研修会。	令和4年7月25日(月)
サイエンスフェスタ 2022 (助成事業)	地域の企業・団体等の協力による科学体験イベント。	令和4年8月21日(日)
ムシテック祭り	ムシテックワールド創立記念イベント。	令和4年11月5日(土) ～令和4年11月6日(日)

⑤ 特別講座

名 称	内 容	期間・期日
ムシの学校	福島県虫の会の方々を講師に迎え、季節ごとの虫の種類や様子を観察や採集をして学んでいく講座	令和4年6月4日(土)5日(日) 令和4年8月6日(土)7日(日) 令和4年9月24日(土)25日(日)
「特別サイエンスショー①」	外部講師による特別サイエンスショー	令和4年7月24日(日)
「特別サイエンスショー②」	外部講師による特別サイエンスショー	令和4年11月5日(土) ～令和4年11月6日(日)
高校生 特別サイエンスショー	県中地区の高校の理科部等によるサイエンスショーを特別サイエンスショー月間とし、各週末行っていく。	令和4年8月7日(日) 令和4年8月14日(日) 令和4年8月21日(日) 令和4年8月28日(日)

(2) 生物、文化、環境、科学等に関わる教育普及に関する事業

① 学校等と連携した活動

名 称	内 容
出前講座・出前授業	公民館などの諸施設や学校に赴き、サイエンスショーや実験・工作、授業などを実施する。
教材の貸し出し事業	発展的な学習内容の観察・実験を手軽に実践できるように、学校や公民館へ観察・実験等に必要な器具等の貸し出しを行う。 ※県内の教職員を対象に「『貸出教材』の紹介及びその使用法 講習会」（教員のための博物館の日）を実施する。「貸出教材」とその活用法を周知し、授業の中で積極的に活用してもらうとともに、科学の楽しさを体験してもらう機会とする。
岩瀬地区小学校理科作品展の開催（共催）	岩瀬地区小学校教育研究会理科部会と共催で岩瀬地区小学校理科作品展を開催するとともに、優秀な作品には「理事長賞」を贈呈し、優秀作品発表会を行う。

② 地元企業や関係機関等との連携事業

名 称	内 容
spff（ふくしまサイエンスぶらっとフォーム）との連携事業	当館でプログラムを実施していただいたり、spffサイエンス屋台村やspff連携機関の企画に出演したりして、実験や工作などを通して科学に対する興味・関心を喚起する。
各種連携事業	県内だけでなく、広く県外の文化施設や研究機関、団体、企業などと連携してプログラムを実施したり、事業推進のための情報交換や交流を図ったりしていく。
地域交流事業	市のイベントである「子どもの祭典」に出演する。地域の企業、団体、高校などと連携して「サイエンスフェスタ」を開催する。

(3) 施設の利用及び啓蒙宣伝に関する事業

【広報媒体等によるプログラム案内・活動内容紹介】

名 称	内 容	時期
市広報	市発行の広報へプログラムやイベントの情報等を提供する。	毎月
県内メディア	市内・県内向け新聞（マメタイムス、あぶくま時報、福島民報、福島民友）へイベントや活動内容の紹介記事の掲載を依頼する。各放送局にもチラシを送付することで、取材の機会を多く作る。 ※ 特別サイエンスショーなどのイベントの際には、担当者がポスターを新聞各社に持ち込み、新聞各紙に直接掲載を依頼する。	随時
県内教育機関	市内の全小・中学校に「学校利用の手引き」を配付するとともに県中・県南地区の幼稚園・小学校へ「プログラムチラシ」を配付する。 市内すべての幼稚園・保育所には、リーフレットと「幼稚園・保育所利用の手引き」を配付し、より一層の周知を図る。 ※ 夏季および冬季休業期間中のプログラムチラシについては、県内すべての幼稚園・小学校に配付し、県内各地への周知を図る。	定期

県内外公共施設等	「道の駅」やその各種公共施設などに「リーフレット」と「プログラムチラシ」を配付し、配架を依頼する。また、ムシテック祭り等の特別イベントの際には、市内および近隣市町村のコンビニ等にも広報ポスターの掲示を依頼する。	定期 随時
旅行誌・タウン誌等	旅行誌・タウン誌等へ施設の利用案内等の情報を提供する。	随時

【ホームページ等によるプログラム案内・活動内容紹介】

名 称	内 容	時期
ムシテックワールド ホームページ	ムシテックワールドの利用案内およびプログラム内容やイベント予定等を計画的に更新し、随時紹介する。	通年
ムシテックワールド ブログ	ムシテックワールドのプログラムの実施状況を実施当日に更新し、紹介する。	通年

(4) その他目的を達成するために必要な事業

① プログラムや運営方法の改善とボランティアの資質向上

名 称	内 容
プログラム開発推進委員会	幼稚園、小・中学校、高校、教育委員会などの教育関係者、一般市民、報道機関などの代表者を委員とする委員会を組織して、「科学教育の普及」の核となるプログラムの改善・充実と普及を図る。
ボランティア研修	プログラムの実務体験等を通して科学に対する知識・理解や実験・工作の技能を高め、ボランティアの資質向上を図るとともに、講師として講座を実施する。

② 研修協力事業

名 称	内 容
職業体験の受け入れ	中学生や高校生が職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする職業体験の受け入れを行う。
社会体験研修などの受け入れ	フォローアップ研修や経験者研修、博物館実習など、接客のサービスなどを体験する職場実習の受け入れを行う。